

科目ナンバー	TOU-A-2-01		
科目名	むさしの学		
担当者	一條 三子		
開講期	2021年度 春学期	科目区分	週間授業
履修開始年次	1	単位数	2.0
曜日/時限	水曜4限	教室	
授業題目	新座市を中心とした武蔵野一帯の歴史と今後の展望		
授業の達成目標	<p>本学の立地する新座市は武蔵野台地の一角を占める。「武蔵野」の具体的なエリアや自然・地理、歴史・文化、典型とされる景観を探り、「武蔵野」以前の景観や歴史、そして「武蔵野」の面影が失われていく経緯とその結果としての現況を主体的に学び実感する。そうした学習を通してこの地域のコミュニティや観光のあるべき姿を自ら考え文書にまとめプレゼンテーションを行って相互に批評しあうことで、より高い企画力の育成をめざす。</p>		
今年度の授業内容	<p>「新座」の地名の由来は武蔵野の景観が出現する数百年前まで遡る。さらに、「新座」が出現する一万数千年前から川に囲まれた武蔵野台地を中心に人々は生活を営んでいた。それらの遺跡や遺構、遺物、伝承等が市内各地に遺されている。一方、近年は鉄道の敷設等によって地域の特性が様変わりした。原始古代から現代までのこの地域の変遷を学ぶことで、豊かな地域資源と克服すべき課題を探り当て、この地域ならではの観光、コミュニティの構築を追究する。</p>		
自習に関する一般的な指示事項	<p>授業で紹介する文献や書籍、資料等を用いて予習復習するほか、現地をフィールドワークしたり資料館等を見学して、地域の諸相にじかに触れることを期待する。</p>		
授業スケジュール			
第1回	<p>授業ガイダンス:「むさしの学」のめざすものは何か、「武蔵野」という地域を具体例として、「地域を学び地域に学ぶ」ことの意義について考える。 「武蔵野」のイメージと具体像についての紹介</p>		
第2回	武蔵野の歴史① 原始・古代:本キャンパスはじめ市内各地の遺跡から浮かび上がる武蔵野台地の黎明期		
第3回	<p>フィールドワークの勧め:昨年度受講学生の「ご近所紹介」プレゼンテーションの紹介 講師の実践例からダークツーリズムについて考える</p>		
第4回	<p>武蔵野の歴史② 古代社会の広がり:朝鮮半島諸国、畿内王権、東北地方などとの政治的関係、人の往来 武蔵野の歴史③ 古代から中世へ:歌に詠まれた武蔵野、「いざ鎌倉へ」を彷彿させる鎌倉道</p>		
第5回	<p>武蔵野の歴史④ 江戸幕藩体制:川越藩主松平信綱がつくった「武蔵野」の原風景 玉川上水と野火止用水の歴史と現状</p>		
第6回	<p>受講生のフィールドワーク実践例の紹介、意見・感想を寄せ合い各自の認識を深める 授業形態によってはオンライン形式のプレゼンテーションも想定される</p>		
第7回	武蔵野の民俗:神社・仏閣や石仏、伝承などから浮かび上がっていくしえの人々の暮らし、信仰		
第8回	水と人々の暮らし:市域を流れる柳瀬川と黒目川、そして野火止用水と人々との共生について考える		
第9回	武蔵野の歴史⑤ 近代国家建設:幕藩体制の終焉と明治新政権の誕生がもたらした社会の変化		
第10回	武蔵野の変容① 鉄道敷設にともなうモノの流れ、ヒトの往来の変化		
第11回	武蔵野の変容② 産業構造の変化と景観の変貌		
第12回	武蔵野の災害の歴史:災害を視野に据えた観光、コミュニティづくり		
第13回	<p>武蔵野、特に新座市の未来像:武蔵野、特に新座市の将来計画を題材とし、観光デザイン学科は地域興しを目的とした観光モデルコース、コミュニティデザイン学科はあるべきコミュニティ構想を考える</p>		
第14回	<p>新座市の将来計画を踏まえて地域興しを目的とした観光モデルコース、理想のコミュニティ構想を発表し、意見交換する</p>		
第15回	<p>授業のまとめ 小論文作成</p>		
授業の運営方法	<p>原則として授業中に配布するレジュメとパワーポイントで提示する資料を用いて講義する。配付資料に関してはポータル機能の「課題提示」にも配信するので、遠隔授業参加の場合は各自でこれを印刷、活用すること。</p>		
成績評価の方法	※次の評価基準・割合に基づき評価されます。		
評価の種類	割合(%)	評価基準、評価方法	
定期試験	0	実施しない	

小論文・レポート	60	第6回授業で発表するレポート及び第15回授業で作成する小論文を2:3程度の割合で評価する
授業参加	40	授業の最後に提出する小テスト(授業感想を含む)の内容、及び授業中の意見交換の際の参加状況
その他		
テキスト		
参考文献		『新座市史』(第1~第5巻)、『野火止用水・平林寺の文化的景観保存計画』など
関連ページ		新座市役所をはじめ埼玉県南部地域の各自治体HP、東京都練馬区、武蔵野市、小平市など埼玉県に隣接する都内各自治体HPなど
その他、履修生への注意事項		対面授業の出席確認は毎回最後に実施する小テスト(感想含む)の提出の有無で行う。 遠隔授業の場合は小テスト(感想含む)の回答をポータル機能の「課題提出」に提出すること。 なお、遠隔授業についてはMicrosoft Teamsを使用し対面授業を同時配信する予定です(初回授業の前にTeamsのコードを連絡します)。
実務経験のある教員による授業科目(令和2年度から該当科目に記載されます)		
実務経験の概要		埼玉県比企郡内3町村自治体史の編纂事業に調査、執筆担当として参加 宮城県石巻市のNPO法人の活動支援等
実務経験と授業科目との関連性		埼玉県や宮城県各地をフィールドワークし地域住民に取材するなどして得た「地域を学び、地域に学ぶ」姿勢や情報を伝える。